

ビギナーからベテランまで魅了 親しみやすい秀峰そろそろ東大雪



前天狗から望むニペソツ山。鋭い尖峰が印象的

「裏大雪」とも呼ばれる東大雪の山々。初・中級の登山者でも比較的アタックしやすく、それでいてベテランをも魅了する秀峰ぞろいです。

東大雪に並び立つ山は、いずれも2000m前後。山容や秋に鮮やかに色付く紅葉など見た目の美しさもさることながら、登山口まで車で容易にアクセスできるため、上士幌町は親しみやすい登山のメッカとして愛好家に知られています。

中でも人気なのが、2013年に標高年を迎えるニペソツ山。日本二百名山にも選ばれている、北海道内では数少ない鋭角的な姿が魅力の山です。アップダウンが激しく、やや上級者向け。前天狗岳から望むニペソツ山は、その迫

ナキウサギとの出会いも



長い稜線が続くウペペサンケ山





満月を挟む西クマネシリ岳（右）とピリベツ岳



石狩連峰最高峰となる石狩岳

力と美しさで知られています。ナキウサギなどの野生動物、高山植物との出会いも楽しめます。

2km余りの長い頂稜が台形のような独特の山容を描くのが、ウペペサンケ山（標高1848m）。山頂からニペソツ山方面の眺めが絶好と言われています。尖峰が特徴的なニペソツと対照的に母性的な山とされ、初心者でも挑戦しやすい山です。

稜線が上士幌町と上川町の境をなし、北海道を代表する一級河川・石狩川の源流となるのが石狩岳（同1967m）。ユニ石狩岳（同1756m）、音更山（同1932m）を含めて石狩連峰と呼ばれています。石狩岳は、標識のある頂上が実は1966m地点で、最高点はさらに稜線を南進したところにあるので注意。当

初は上級者向けの難しい山でしたが、地元登山者が50年前に「シュナイダーコース」と呼ばれる登山路を開いて短時間で登れるようになり、一気にその存在が知られるようになりました。ユニ石狩岳には、ナキウサギの生息地があることで有名です。

「オッパイ山」の通称で知られるのが、西クマネシリ岳（同1635m）。三股から望むとピリベツ岳（同1602m）と左右に並び、女性の乳房のように見えます。

登る山としてはあまりメジャーではありませんが、珍しい噴泉塔群を持つのが丸山（同1691m）。噴泉塔とは、地表から噴出した温泉に含まれる炭酸カルシウムが沈殿し、固まったドーム状の「石灰華」のことで、北海道内には数カ所しか見られません。

珍しい丸山の噴泉塔群



かわいらしい花を咲かせる高山植物

